

## 2022 年度実施概要

学校名

静岡県浜松市立三ヶ日中学校

採択活動名

20 年後の三ヶ日の活性化を目指して

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 総合的な学習の時間	1～3年	総合
2.		
3.		

取り組みの概要

本校の総合的な学習は、中学1年生では、これらの自然資源、産業活動、街並み、そこに暮らし集う人々、地域に根付く歴史と文化などの地域資源を調べ、これまで以上に三ヶ日町を知る活動を行っている。2、3年生になるとこれら三ヶ日町の学習材を生かして、より良い生活の場の創造と地域活性化、観光振興、湖水環境問題改善などについて探究させる活動を設定し、三ヶ日町全体を学習フィールドとしてとらえ、三ヶ日町の課題を見つめ、より良い三ヶ日町にするための学習活動へと学習の幅を広げている。

探究活動の核となる探究テーマを、生徒個々が強く問題意識をもって取り組むことができるように、自分たちの住んでいる現在の三ヶ日町から、20年後により良い三ヶ日町するために自分たちに何ができるか考え、課題設定させている。現在は、環境、特産物、観光の3つのカテゴリーに分かれた9つのチームが活動している。

環境のカテゴリーでは、「アサリの養殖（チームA&k）」「アマモの養殖（チームアマ浄）」「みかんの草生栽培（チームI S J）」が猪鼻湖の水質浄化に関する探究活動に取り組んでいる。今回の取り組みでは、A&k、アマ浄に特化して、水質浄化に関する活動を進めた。

A&kでは、宝島技術（株）の小島昭先生の御指導の下、鉄デバイスを活用して、アサリの生育状況を観察した。水に溶けだした鉄イオンが植物プランクトンの生成を早め、アサリの生育環境を向上できるかを確認した。学校近くの湖に条件の異なるアサリ・鉄デバイスの入った網の袋を沈め、比較実験をしている。今後は、アサリを取り巻く海水の環境にも注目し、探究活動を継続する。

アマ浄では、水中の窒素やリンを吸収し、魚や貝などの生き物が卵を産み、子を育てるのに適しているアマモの特徴に注目し、猪鼻湖でもアマモを育てることができるか活動を進めている。浜名湖でアマモの研究を進めているNPO浜名湖フォーラム徳増隆二氏の御指導の下、まずは、校内に水槽を設置して実際にアマモを育てている。その結果をもとに、湖でも生育していく方法を検討している。

活動中の写真を2～3枚以上、画像ファイルにてご提出をお願いします。

Wordに貼り付けた場合も 元データの画像ファイル を提出してください。

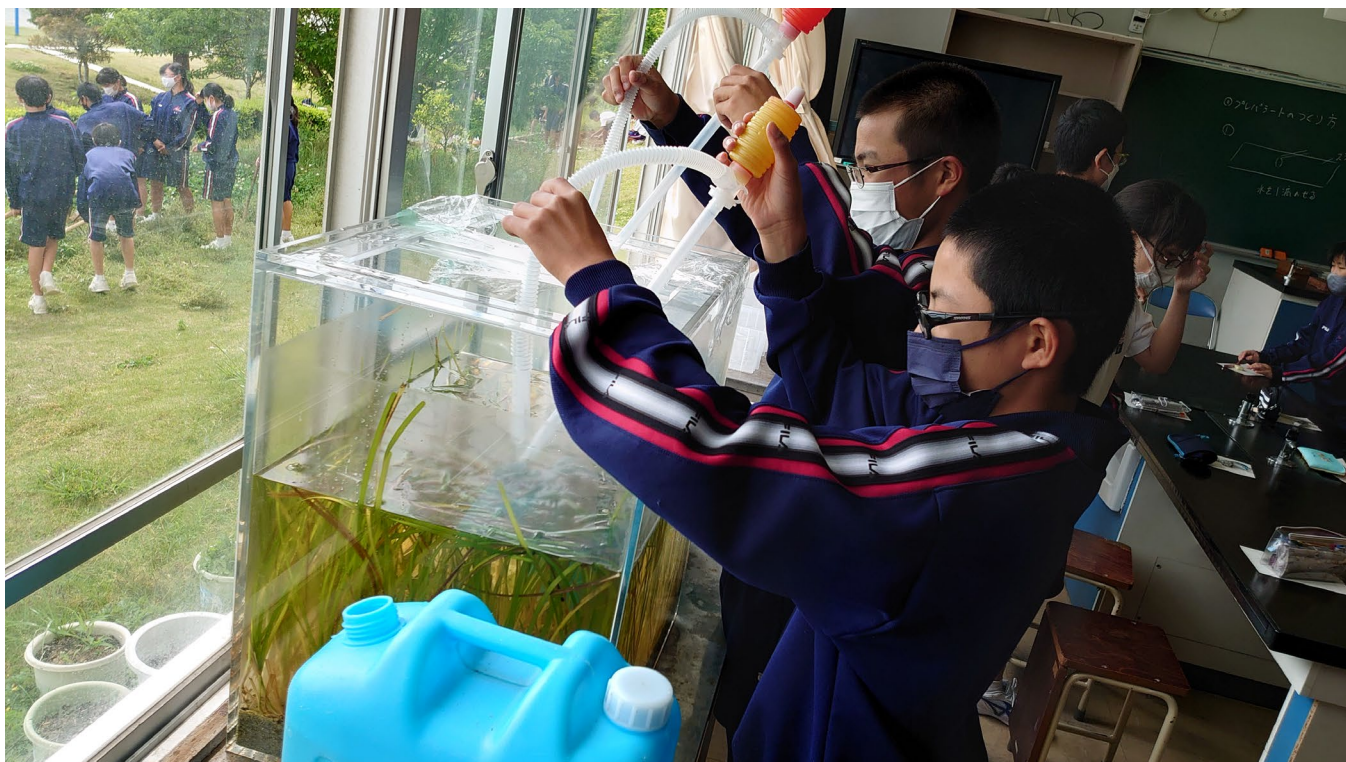
フォルダにまとめ、ファイル名をどんな活動をしている際の写真なのかわかるよう変更してください。

フォルダ名は「2. 実施概要\_写真\_〇〇学校」としてください。

ご提出いただいた写真はwebサイト等で使用いたします。肖像権、著作権等にご留意ください。



<アマ浄：三ヶ日青年の家で育っているアマモの様子を観察する生徒>



<アマ浄：校内で育てているアマモの水替えをする生徒>